

《著者紹介》

山口 祐 香 (やまぐち・ゆか)

1993年 佐賀県生まれ。

2021年 九州大学大学院地球社会統合科学府博士課程修了。博士（学術）。

日本学術振興会特別研究員（DC1）、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構学術研究員、ソウル大学日本研究所客員研究員などを経て、

現 在 日本学術振興会特別研究員（PD）（神戸大学）。専門は、戦後日韓関係史・在日朝鮮人史・市民運動史。

論 文 「歴史実践としての朝鮮通信使関連文化事業——韓国側の取り組みを中心に」（『インターカルチュラル』第17号、2019年）。

「朝鮮通信使関連文化事業における越境する市民公共圏——「世界の記憶」登録推進事業をめぐる対立と協働」（『グローバル・ガバナンス』第5号、2019年）。

「（韓国語論文）生活者を見る視角——辛基秀と『季刊三千里』（翰林大学校日本学研究所編『内破する国民国家、架橋する東アジア』學古房、2022年）、など。